

立地上のハンデ克服のポイントは コストダウンとリードタイムの削減

課題

生産性の強化で 立地のハンデを補いたい

大阪に本社を置き、和歌山県有田川町に工場を構えてアルミ・ステンレス製品の製造、加工を行う株式会社坂口製作所。品質管理および安全衛生対策、設計・工作、検査において高い水準にあるとして全国に8工場しかない軽金属溶接構造物製造工場M級に認定されているほか、アルミ溶接のJIS溶接資格保有者20名、ステンレス溶接の資格保有者が13名在籍。溶接技術だけでなく最新鋭の板金加工設備を完備し、浸透検査などの検査技術の資格保有者も在籍している。

得意とするのは、溶接工程をとまなう高付加価値板金加工品の製造だ。アルミ・ステンレスの板金・溶接・組立加工・検査まで各工程が高いクオリティを誇り、しかもワンストップ対応が可能という卓越した技術力は高い評価を受けており、顧客登録数は大手重電メーカーをはじめとして300社以上。月平均約60社の受注に応じている。

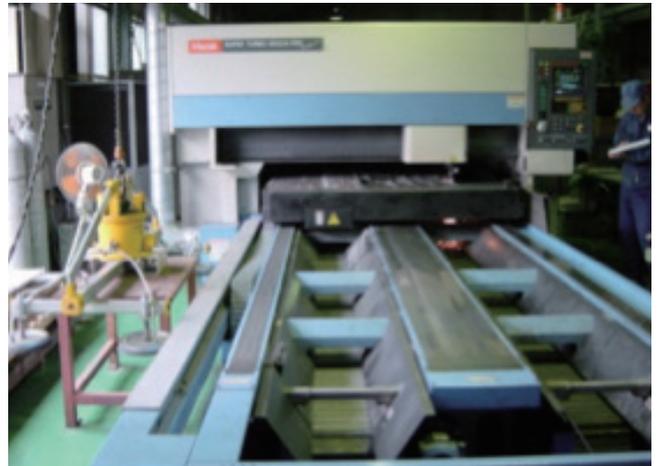
工場は、紀伊山地の中央に位置する旧清水町（合併後、現在は有田川町）の誘致第一号として新設されたもので、従業員はすべて地元雇用で地域に根差した経営を続けてきた。

一方で、主要国道42号線から約35km離れており、幹線国道までは車で1時間かかるという距離的ハンデが課題にもなっていた。時間的なロスが生じるうえ、輸送費も割高になるため、コストダウンとリードタイムの短縮で競争力の強化を図る必要があった。

支援

設備投資で生産性向上 新たな技術開発も

支援にあたった有田川町商工会では、ものづくり補助金の申請を支援し、4年連続で採択を受けることに成功した。補助を受けた3000万円強を活用して、平成25年には乾式バリ取り機を導入し、金属の切断面を研磨する工程の効率化を進めた。平成26年には電極汚損を抑制するコンデンサ式抵抗溶接プロセスの試作開発に取り組んだ。これは、コスト競争が激化しているアルミ加工分野で優位性を確立するものとなった。続いて平成27年には最新鋭ベンダーと同社が強みとする溶接技術を融合して溶接後の矯正作業を大幅に削減する技術を開発し、平成28年には最新のアーク溶接機と同社独自の溶接歪み矯正技術を融合させて安価な薄板溶接技術お



高速・高精度の加工が可能な最新板金設備をもつ

よび異材接合溶接技術を確立。品質、価格、納期での競争力を高めるとともに、コストダウンとリードタイムを短縮するという目標に向かって着実に対策を進めていった。

これらの設備投資で生産性は大きく向上し、平成29年度決算では、前年度比2.14倍の利益を計上した。

今後はさらなるコストダウンに取り組むとともに、注目の最新技術である、アルミ合金と鋼、ステンレス、マグネシウム合金の異材接合技術の確立に挑み、国際競争力を最大限に高めることに注力する。

支援の経過

期間	支援内容
H25～28年	ものづくり補助金の申請支援
H27年3月	就業規則の改訂、賃金規定等の整備支援
4月	生産性向上等、経営改善に関する支援
H28年10月	はばたく中小企業・小規模事業者300社推薦

会社概要

会社名：株式会社坂口製作所
 住所：和歌山県有田郡有田川町清水877-1
 電話番号：06-6661-7007
 URL：https://sakaguchi-ss.co.jp/
 代表者名：代表取締役社長 坂口清信
 創業年：昭和61年
 年間売上高：9億3787万円（平成29年）
 従業員数：82名
 商工会名・担当者名：有田川町商工会・保田規好